日本観光研究学会・関西支部ニューズレター

観光学

第6号　2017年度
（2018年3月発行）

JITR-Kansai
Japan Institute of Tourism Research
No.6

写真：尾道観光のポイント、千光寺ﾛｰﾌﾟｳｪｲで登り尾道水道の絶景を見ながら路地を下る（撮影：小長谷）

★日本観光研究学会・関西支部（JITR-Kansai）ホームページ→【　http://www.kankoryoku.jp/　】
ニューズレター『観光学』第６号　2017年度（2018年３月発行）

1. 2017（平成29）年度関西支部活動を振り返って（支部長　国枝よしみ）

2017年度は「観光人材の育成」をテーマにスタートし、現地研修会は尾道市でDMO様との意見交換が実現。地区懇話会では、池田市様等と意見交換ができました。一方、観光学研究部会では、西村典芳先生（神戸山手大学）、堀内史朗先生（阪南大学）がご発表されました。来年度も皆様のご参加をお待ちしています。

2. 2017（平成29）年度の活動を振り返って（副支部長　前田武彦）

「関西支部ー関西圏の観光力に向けて」関西では今、市営地下鉄民営化、関西圏三空港の運営一体化、BRTの導入計画など、観光の基盤となる大型交通網が整備再編され、万博やIRなど大規模集客事業の誘致計画も進んでいます。社会を活性化させる「観光力」に正面から向き合い議論ができる関西は、この学会にとって、取り組むテーマの宝庫だといえるのではないでしょうか。

3. 支部活動１『関西支部総会』＋『第13回　意見交換会：関西から観光立国・立圏を考える』「関西の観光振興と人材育成を語る」

【日　　時】2017年５月20日（土）総会11：00 ～ 11：30、意見交換会13：00 ～ 17：00
【会　　場】阪南大学あべのハルカスキャンパス
【総会議案】2016年度活動報告および収支決算、2017年度活動計画および収支予算の承認
【意見交換会テーマ】「観光人材の育成について考える」
【意見交換会プログラム】
（1）開会挨拶（13：00 ～ 13：05）日本観光研究学会関西支部長　国枝よしみ。（2）特別講演（13：05 ～ 13：35）『関西における観光政策の現状』国土交通省近畿運輸局企画観光部長　福西謙氏。（3）基調講演（13：40 ～ 14：10）『観光人材の育成に求められるもの』観光庁観光産業課参事官　黒須卓氏。（4）パネルディスカッション（14：20 ～ 16：45）『関西の観光振興と人材育成を語る』○パネリスト：黒須卓氏、岐阜県観光国際戦略アドバイザー　古田菜穂子氏、城崎温泉西村屋代表取締役　西村総一郎氏、日本観光研究学会関西支部幹事・追手門学院大学社会学部教授　福本賢太。○コーディネータ：日本観光研究学会関西支部長・大阪成蹊大学副学長　国枝よしみ。（5）意見交換（16：45 ～ 17：00）参加者との質疑応答・情報提供。（6）交流会（17：30 ～ 19：00）。総参加者80名でした。

４．支部活動２『地区懇話会』「池田の観光をもり上げる！ー住宅都市の観光にぎわい戦略」

【日　　時】2018年２月24日（土）９：30集合～まちあるき、14：00 ～基調講演・シンポジウム
【会　　場】池田市中央公民館３F大ホール（大阪府池田市菅原町1-1）
【テ ー マ】「池田の観光をもり上げる！ー住宅都市の観光にぎわい戦略」
【概　　要】近年、住宅都市で観光戦略をとるところが増えています。その一つ、池田市は、2018年NHK朝の連続テレビ小説「まんぷく」で、池田でインスタントラーメンを発明した安藤百福氏と妻仁子さんがモデルとなって注目度も高まっており、共催となりました。

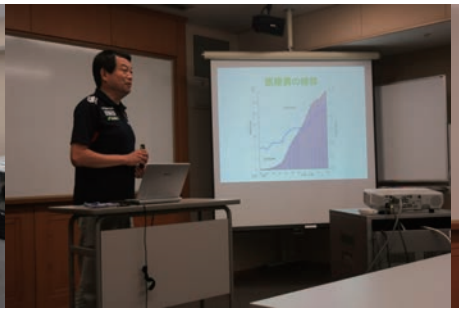
【プログラム】

（1）９：30：阪急池田駅改札前の新設インフォメーションセンター前に集合（ウォンバットの剥製）。（2）９：35 ～ 12：30頃：観光ボランティア様等のガイドによりエクスカーションをおこないました。①カップヌードルミュージアム大阪池田（世界でたった一つの自分だけのカップヌードルを作る参加体験）→②商店街→③落語みゅーじあむ→④池田城跡公園（展望台前のステージと淡墨桜）→⑤小林一三記念館など（和洋折衷の傑作）。午後からは、市役所横の池田市中央公民館の会場にて、講演会とシンポジウムをおこない38名の参加でした。（3）14：00 ～ 14：05：国枝支部長挨拶。（4）14：05 ～ 14：40：倉田薫市長基調講演。（5）14：40 ～ 16：40：シンポジウム「池田の観光を盛り上げるー住宅都市の観光にぎわい戦略」○パネリスト：元観光振興監　岸上孝志氏、カップヌードルミュージアム大阪池田・マネージャー　小池昭彦氏、五月山動物園副園長　瀬島幸三氏、チキチキ探検隊実行委員会委員長　野網厚詞氏、○ファシリテーター：大阪成蹊大学教授　松田充史、○総合司会：京都外国語大学外国語学部准教授　原一樹。（6）17：00 ～ 19：00：商店街で懇親会がおこなわれ交流が深められました。19名の参加でした。⇒ ***★最終ページにも写真***

５．支部活動３「観光学研究部会」

（１）第１回観光学研究部会

【日　　時】2017年７月25日（火）19：00 ～
【会　　場】大阪市立大学文化交流センター（梅田）
【テ ー マ】「ヘルスツーリズムによる地方創生」
【講　　師】西村典芳（にしむら・のりよし）氏（神戸山手大学現代社会学部観光文化学科教授・日本ウエルネスウォーキング協会会長・日本ウエルネス学会理事）



（２）第２回観光学研究部会

【日　　時】2017年11月28日（火）19：00 ～
【会　　場】大阪市立大学文化交流センター（梅田）
【テ ー マ】「人口減少地域で展開する人的交流」
【講　　師】堀内史朗（ほりうち・しろう）氏（阪南大学国際観光学部准教授）

６．支部活動４「観光サロン」

（１）第１回観光サロン

【日　　時】2017年９月26日（火）19：00 ～
【会　　場】大阪市立大学文化交流センター（梅田）
【テ ー マ】「食と農による地域活性化と観光集客」
【講　　師】金丸弘美（かねまる・ひろみ）氏（総務省地域力創造アドバイザー・内閣官房地域活性化伝道師・食環境ジャーナリスト・食総合プロデューサー）

７．支部活動５『中四国現地研修会・フォーラム』(広島県尾道市およびしまなみ海道)

【日　　時】2017年9月11日～ 12日

【会　　場】尾道市およびしまなみ海道

【概　　要】日本観光研究学会関西支部では、中四国の研究者との交流・調査研究のための中四国研修会をおこなっております。2014年度におこないました高知（黒潮町の砂浜美術館）、2016年度におこないました松山・道後温泉に続き、第３回目の2017年度は、尾道およびしまなみ海道にて研修会を開催いたしました。

現在尾道市は、「行きたいまち（ふるさと甲子園）」で全国第１位となり、日本遺産「尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市」に指定された年間675万人の代表的観光都市であり、また瀬戸内観光の中心「しまなみ海道」の玄関都市としても、今後ますます拠点としての重要性は増してまいります。今回は広島県大阪事務所長のアレンジで、現地のDMO一般社団法人しまなみジャパン様、ディスカバリーリンクせとうち様、NPO法人尾道空き家再生プロジェクト様、尾道市役所様ほかの関係の皆様のご協力により、研修会を無事終了いたしました。参加者16名の盛況となりました。南北方向の中央の道が、市役所＝ロープウェイ駅を結ぶ「薬師堂通り」で、西のJR駅からそこまでが尾道本通りの中央街、そこから東が古くからの飲み屋街である「新開（しんがい）地区」となっています。１日目は、まずJR駅西側のU2にて関係者ヒアリングと昼食の後、JR駅北側のリノベーション物件①②を見学し、東に向かって商店街を通りリノベーション物件③を見学。さらに、千光寺山ロープウェイに乗り登山、下山しながら尾道水道を一望できる有名な眺望の良い坂道の路地あるきを体験、リノベーション物件④および「猫の細道」を見学し、夜には交流会をおこないました。２日目は、市役所ヒアリングの後、午後は「瀬戸田地区見学」と「サイクリング」各班に分かれました。

【2017年９月11日（月）】尾道市中心部のリノベーション物件見学と下山しながら有名な眺望の良い坂道の路地道の体験、DMO、企業、市等との意見交換。（1）11：00　JR尾道駅集合。（2）11：30 ～ 13：00　駅から海岸沿い西側にある元県営倉庫上屋２号のリノベーション物件「U2」にて関係者のご説明を聞き、昼食をとりました。しまなみジャパンの合田専務・新宅事務局長や（ディスカバリーリンクせとうちグループの）U2の井上副社長ら関係者のみなさまとディスカッションいたしました。インバウンド観光客は、欧米系が多いことの他、ジャイアントグループとの関係もあり、台湾からも多くなっています。https://www.onomichi-u2.com/restaurant.html　（3）13:30 ～ 14:30　「NPO法人尾道空き家再生プロジェクト」代表の豊田雅子理事長から、駅北の２物件についてプロジェクトのご説明をいただき、ディスカッションいたしました。http://www.onomichisaisei.com/（NPOリノベーション物件①②）「北村商店・三軒家アパートメント」「ガウディハウス（改修中）」。（4）14：30 ～ 15：30　東にむかって＜商店街＞を行く。うなぎの寝床より長い（NPOリノベーション物件③）「あなごのねどこ」、その奥に今女性に人気のお洒落な書店「紙片」があります。（5）15：30 ～ 17：30　千光寺山ロープウェイで上がり、尾道水道を一望できる有名な眺望の良い路地道を下る。https://hiroshima-welcome.jp/kanpai/catstreetview/　（NPOリノベーション物件④）「みはらし亭」や「猫の細道」を通る。（6）18：30 ～　市東部の「新開（しんがい）地区」にて交流会。珍しい穴子のしゃぶしゃぶで夕食。尾道市のまちづくり推進課から「新開地区」都市整備やレシピ開発のお話を、また、しまなみジャパンの合田専務・新宅事務局長や、尾道の食ベンチャー山根浩輝社長もお話もしていただきました。

【2017年９月12日（火）】市役所での意見交換と自由見学。（7）9：30 ～ 11：00　尾道市役所での平谷市長様を交えた観光課との意見交換、観光まちづくり政策ヒアリング。１）マウンテンバイクの下山動画が400万ビューを超えたこと、２）「尾道市役所宇宙漁業課の女子」を主人公にしたコンテンツ作品が発表されること、など。（8）11：30 ～ 12：30　有名な尾道ラーメンとしらす丼で昼食。（9）しまなみ海道見学（午後）（瀬戸田ルート）耕三寺と未来心の丘。（サイクリングルート）。⇒ ★最終ページにも写真

８．支部活動６　関西支部幹事会開催記録（2017年度）

第１回　2017年４月25日（火）18：30 ～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第２回　2017年５月23日（火）18：30 ～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第３回　2017年６月27日（火）18：30 ～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第４回　2017年７月25日（火）18：00 ～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第５回　2017年９月26日（火）18：00 ～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第６回　2017年10月24日（火）18：30 ～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第７回　2017年11月28日（火）18：00 ～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第８回　2017年12月19日（火）18：30 ～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第９回　2018年１月23日（火）18：30 ～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第10回　2018年２月27日（火）18：30 ～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第11回　2018年３月27日（火）18：30 ～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）

９．支部活動７　NPO法人「観光力推進ネットワーク・関西」の応援と協働

（１）NPO法人「観光力推進ネットワーク・関西」今年を振り返って（理事長挨拶）桑田政美

NPO観光力ネットの活動にご支援ご協力をいただきました理事の皆様、会員の皆様、そして事業にご参加いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。事業の継続を図りつつ更なる発展をと頑張ってまいりましたが、今年はやや物足りなさが残る１年でもありました。次年度は組織を一新し、事業の再構築、学生連絡協議会の体制強化などを進めてまいります。引き続きよろしくお願いいたします。

（２）NPO法人「観光力推進ネットワーク・関西」今年を振り返って（副理事長挨拶）国枝よしみ

今年度も「地域創造のための観光マネジメント講座」より人材が輩出されましたことを嬉しく思っています。大学の教材として『地域創造のための観光マネジメント講座』（学芸出版社）が定着しているように拝察します。学生協議会による活動や研究発表も参加大学の増加に伴って活性化することを期待しています。

（３）NPO法人「観光力推進ネットワーク・関西」今年を振り返って（副理事長挨拶）森山正

NPO観光力ネットは関西の観光系学部などを持つ大学と地域計画コンサルティング社により構成されています。組織内にある「学生連絡協議会」では、大学教員の指導のもと、学生が産官学共同の研究活動や地域活性化プロジェクトに実践的に取組みました。今後も、NPO本体の観光振興事業と学生の実践的な諸活動を積極的に行います。

（４）第12回「地域創造のための観光マネジメント講座」の開催

【日時】2018年１月６日、１月20日、１月27日、２月３日の４日間。【会場】梅田・大阪駅前第２ビル６階大阪市立大学文化交流センター、20日だけ同15階 イオンコンパス大阪駅前会議室。【プログラム】●第１日目１月６日（土）【ステップ１：地域の宝を探し磨く新しい観光】（第１回10：00 ～ 11：10）「「地」の観光としてのエコミュージアム」阪南大学名誉教授　吉兼秀夫、（第２回11：10 ～ 12：20）「見えない宝を探し、創り出すコンテンツツーリズム」京都外国語大学准教授　原一樹、（第３回13：20 ～ 14：30）「宝探しとエコツーリズム」北海道大学客員教授　真板昭夫、（第４回14：30 ～ 15：40）「ヘルスツーリズムと地域創造」大阪観光大学教授　辻本千春、（第５回15：50 ～ 17：00）「観光マーケティングの枠組み」大阪成蹊大学教授　国枝よしみ。**●第２日目１月20日（土）【ステップ２：地域の宝を誇り伝える観光マーケティング】**（第６回10：00 ～ 11：10）「地域創造を支える観光人材の育成」追手門学院大学教授　福本賢太、（第７回11：10 ～ 12：20）「顧客と地域人材のマーケティング」神戸山手大学教授　森山正、（第８回13：20 ～ 14：30）「観光マネジメントとまちづくりの計画」㈱地域計画建築研究所(アルパック)主幹　小阪昌裕、（第９回14：30 ～ 15：40）「地域における観光商品づくりと観光事業への活用」阪南大学教授　清水苗穂子、（第10回15：50 ～ 17：00）「プロモーションとイベントの活用方法」神戸国際大学教授　桑田政美。**●第３日目１月27日（土）【ステップ３：地域の宝を興す観光マネジメント】**（第11回10：00 ～ 11：10）「多様な主体の総合力による観光地域づくり」㈱地域計画建築研究所(アルパック)チーム長　高田剛司、（第12回11：10 ～ 12：20）「基本となるサービスとホスピタリティの考え方」摂南大学准教授　野村佳子、（第13回13：20 ～ 14：30）「事業推進のための制度の活用と資金の調達」立命館大学客員教授　金井萬造、（第14回14：30 ～ 16：30）「地域創造型観光のマネジメント－成功事例からみる７つの原則」大阪市立大学大学院教授　小長谷一之。**●第４日目２月３日（土）**（第15回13：00 ～ 17：00）「受講生のプレゼンテーション」受講者は地域創造型観光のプロジェクト計画書を作成し、受講者全員でミニ・プレゼンテーションを行い、本講座を終了しました。

（５）学生連絡協議会（学連協）の応援【学生からの報告】

１）学生連絡協議会総会【実施日】2017年５月20日(土) 10:00 ～【会場】阪南大学あべのハルカスキャンパス【参加】神戸国際大学４名、神戸山手大学３名、阪南大学５名、大阪成蹊大学６名、大阪観光大学４名、京都外国語大学15名、大阪市立大学２名【概要】2016年度活動報告、2017年度新役員自己紹介、アイスブレイキング、2017年度活動計画報告等を行いました。

２）六甲山エコ活動・春【実施日】2017年６月18日（日）。【概要】「ブナを植える会」様や株式会社JTB西日本様と連携し、六甲山エコ活動に取り組みました。【参加】神戸山手大学。

３）「城崎温泉怪談祭」および「若旦那・若女将密着体験プロジェクトin 城崎」開催協力・研修参加【実施日】2017年９月11日～16日。【概要】城崎温泉旅館経営研究会の皆様のご指導のもと、「城崎温泉怪談祭」の企画・運営、城崎温泉の各旅館にてインターンシップを行いました。【参加】（インターンシップ）京都外国語大学10名、大阪観光大学７名、阪南大学１名。（城崎怪談祭）阪南大学９名、京都外国語大学２名、神戸国際大学１名、大阪観光大学１名、平安女学院大学１名。

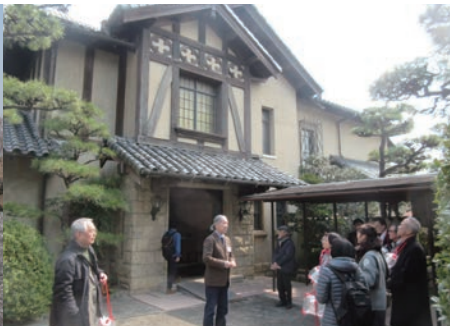
４）就活セミナー【実施日】2017年11月26日、12月10日、12月17日。【会場】梅田・大阪駅前第２ビル６階大阪市立大学文化交流センター。【概要】NPO観光力推進ネットワーク・関西が主催する第４回「就活サポート講座」が本年度も開講されました。講師は社会人経験豊富な元企業人事の責任者である森山氏（NPO副理事長）で、講座のポイントは、「企業の採用戦略」、「自己の強み発見と活用の方法」等でした。【参加】京都外国語大学４名。

５）学生研究発表会【実施日】2018年２月８日（木）。【会場】阪南大学あべのハルカスキャンパス。
【概要】学生発表会は観光力推進ネットワーク関西学生連絡協議会に所属する学生が１年間研究した成果を発表しあう発表会です。今年は阪南大学、神戸国際大学、京都外国語大学の合計３大学９チームが出場しました。今年の最優秀チームは京都外国語大学の「女子大生が行きたくなる城崎温泉」という研究でした。その他にも、若い女性のタイへの集客戦略に関する研究や、宿坊と観光列車を利用した高野山への提案など、多様な発表が行われました。【参加】神戸国際大学８名、阪南大学12名、京都外国語大学14名。⇒ ***★最終ページにも写真***

＜支部新年度予定：2018年度「関西支部総会・意見交換会、学生連絡協議会」は５月19日(土)にあべのハルカスで＞

９．支部活動７　NPO法人「観光力推進ネットワーク・関西」の応援と協働（５）学生連絡協議会（学連協）の応援【学生からの報告】５）学生研究発表会

４．支部活動２『地区懇話会』「池田の観光をもり上げる！ー住宅都市の観光にぎわい戦略」2018年２月24日



７．支部活動５『中四国現地研修会』2017年９月11 ～ 12日（広島県尾道市およびしまなみ海道）

日本観光研究学会・関西支部（JITR-Kansai）ニューズレター『観光学』第６号（2017年度）発行：2018年３月10日
発行人：国枝よしみ　編集人：小長谷一之
【事務局】阪南大学国際観光学部森重研究室気付 〒580-0033 大阪府松原市天美南1-108-1　gakkai@kankoryoku.jp